

国宝妻沼聖天堂参拝と路地まち歩き交流会

「熊谷妻沼手づくり市」に合わせて平成24年10月27日開催

0 集合：10月27日(土)午後1：00 熊谷駅（JR高崎線、秩父鉄道）北口駅前広場
朝日バスで妻沼へ移動（所要時間約30分、バス料金450円）

1 国宝妻沼聖天堂参拝（拝観料700円、めぬまボランティアガイド「阿うんの会」による説明）
妻沼聖天山は、1179年（治承3年）斎藤別当実盛公が、聖天宮を開いたのが始まり。1670年（寛文10年）に類焼したが、1741年（寛保元年）歎喜院の海算院主の発意のもと、聖天山信徒の浄財により、現在の本堂が竣工した。

聖天堂（本堂）と貴惣門が国指定重要文化財であったが、聖天堂は平成15年から平成23年にかけての保存修理工事が完了し、平成24年国宝に指定された。

日本三大聖天のうちの一つに数えられる名刹。埼玉日光という別名もあり、本殿外壁の彫刻は豪壮華麗です。境内には数々の美しい建築物が点在しているまた、古来より縁結びの神様として厚い信仰を集めている。



2 “熊谷妻沼手づくり市”見学

縁結びのまち・妻沼のまちづくり活動として、商業者有志（妻沼まちづくり工房を設立）が自主的に始めた事業で、今回で11回目（年2回実施）の開催。店先のスペースや空き店舗、駐車場などを活用して、広域からクラフト作家・愛好家などが100件以上が出店。地元主体のまちづくりイベントとしては、一見の価値あり！

今年4月の手づくり市では、路地とその沿道民地での出店・展示なども展開。



3 めぬまの路地と街なか散策

妻沼の路地や民地の通り抜け、貴重な地域遺産などを見学。



4 路地まち交流会：午後5時頃から飲み会（会場：和食ダイニングあか石、会費約3,000円）

埼玉県内各地のまちづくり団体も参加予定。

主催：妻沼まちづくり工房

協力：埼玉路地まち倶楽部、全国路地のまち連絡協議会、NPO法人つげの会

参加申込み先：(株)マキュアス 猪瀬 inose@macuass.co.jp へ平成24年10月20日までに mail 連絡願います。